

2019年度 体育・保健体育 指導力向上研修（西部ブロック）

・期 日 令和元年5月15日（水）～17日（金）
・会 場 鹿児島県鹿児島市


分科会・コース	校種	受講者	所属
A 幼児の運動遊び	幼・小	上 萬 貴志	社会福祉法人 鳥取福祉会
B 体づくり運動系	小	倉 繁 裕子	倉吉市立上灘小学校
C 体づくり運動	中・高	桐 林 一広	鳥取東高等学校
D 器械運動系	小	小 草 慶治	境港市立境小学校
E 水泳	中・高	福 田 一隆	大山町立大山中学校
F 武道（剣道）	中・高	上 川 禎	若桜町立若桜学園中学校
G 保健	小・中・高	垣 田 英紀	米子高等学校

日 程	時 間	内 容	備 考
第一日 5/15 (水)	9:00 - 11:00	開会式 【全体会】 新学習指導要領を踏まえた 体育・保健体育授業の考 え方 (60分)	星 食・ 移 動
	13:00 - 15:00	講義・実技・演習1 【分科会（コース別）】 新学習指導要領を踏まえた 各領域における指導の在り方 ◎講義 ◎実技 ◎演習	
第二日 5/16 (木)	9:00 - 11:00	講義・実技・演習2 【分科会（コース別）】 新学習指導要領を踏まえた 各領域における指導の在り方 ◎講義 ◎実技 ◎演習	星 食
	13:00 - 15:00	講義・実技・演習3 【分科会（コース別）】 新学習指導要領を踏まえた 各領域における指導の在り方 ◎講義 ◎実技 ◎演習	
第三日 5/17 (金)	9:00 - 11:00	講義・演習4 【分科会（コース別）】 新学習指導要領を踏まえた 各領域における指導の在り方 ◎講義 ◎演習	社 食
	13:00 - 15:00	【全体会】 研修力 まとめ (15分) 閉会式	



【講義1】 新学習指導要領を踏まえた 体育・保健体育授業の考え方

配布資料



2019年度体育・保健体育指導力向上研修 西部ブロック 鹿児島県
新学習指導要領を踏まえた体育・保健体育授業の考え方
会場 かがしま県民交流センター
日時 2019年5月15日～17日
スポーツ庁政策課 教科調査官 横嶋 剛

学習指導要領改訂の基本的な考え方

- ・子供たちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する
「社会に開かれた教育課程」を重視。
- ・現行の枠組みや教育内容を維持した上で、知識の理解の質をさらに高め、確かな学力を育成。
- ・道徳教育の充実や体験活動の重視、
体育・健康に関する指導の充実により、
豊かな心や健やかな体を育成。

改善すべき事項（中教審答申より）

中学校・高等学校学習指導要領解説（保健体育編・体育編）p2

- ① 「何ができるようになるか」（育成を目指す資質・能力）
- ② 「何を学ぶか」（教科等を学ぶ意義と、教科等間・学校段階間のつながりを踏まえた教育課程の編成）
- ③ 「どのように学ぶか」（指導計画の作成と実施、学習・指導の改善・充実）
- ④ 「子供一人一人の発達をどのように支援するか」（子供の発達を踏まえた指導）
- ⑤ 「何が身に付いたか」（学習評価の充実）
- ⑥ 「実施するために何が必要か」（学習指導要領等の理念を実現するために必要な方策）

育成を目指す資質・能力の明確化

中学校・高等学校学習指導要領解説（保健体育編・体育編）p3

「何ができるようになるか」を明確化

知・徳・体にわたる「生きる力」を子供たちに育むため、「何のために学ぶのか」という学習の意義を共有しながら、授業の創意工夫や教科書等の教材の改善を引き出していけるよう、全ての教科等の目標や内容を以下の三つの柱で再整理

- ① 知識及び技能
- ② 思考力、判断力、表現力等
- ③ 学びに向かう力、人間性等

「保健」の目標 高等学校学習指導要領解説(保健体育・体育)p214 (中学校学習指導要領解説(保健体育)p206)

保健の見方・考え方を働かせて、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

- (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。(知識・技能)
- (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

保健の見方・考え方(小中高共通)

【中教審答申(H28.12.21)より】

疾病や生涯を防止するとともに、生活の質や生きがいを重視した健康に関する観点を踏まえ、「個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付けること」と整理することができる。

資料 生きる力(中学校用)

「生きる力」を育むために
子供たちの学びはどう進化するのがいい？

主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)の真の姿から「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視して授業を改善します。

「学ぶこと」は人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力、人間性など

実際の社会や生活で生きて働く
知識及び技能 思考力、判断力、表現力など

社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、三つの力をバランスよく育みます。

それぞれの姿に成長していく姿と、**予測困難**な社会の変化に対応する「生きる力」を身に付けた子供たちが、これから社会を生き抜いていく姿を表現。

学習評価の改善と指導要領(全体)

資料

児童生徒の学習評価の在り方について(報告)

平成31年1月21日
中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会

まづもって・・・「カリキュラム・マネジメント」とは？
学習指導要領 第1章総則第1款5 ※中学校も同旨

各学校においては、

- ・生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと、
- ・教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと、
- ・教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと

などを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと(以下「カリキュラム・マネジメント」という。)に努めるものとする。

学習評価についての基本的な考え方

(1) カリキュラム・マネジメントの一環としての指導と評価
 【資料】児童生徒の学習評価の在り方について(報告)p3

各学校における教育活動は、学習指導要領等に従い、児童生徒や地域の実態を踏まえて編成した教育課程の下で作成された各種指導計画に基づく授業(「学習指導」)として展開される。各学校は、日々の授業の下で児童生徒の学習状況を評価し、その結果を児童生徒の学習や教師による指導の改善や学校全体としての教育課程の改善、校務分掌を含めた組織運営等の改善に生かす中で、学校全体として組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図っている。

このように、「学習指導」と「学習評価」は学校の教育活動の根幹であり、教育課程に基づいて組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図る「カリキュラム・マネジメント」の中核的な役割を担っている。

13

(2) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善と評価

【資料】児童生徒の学習評価の在り方について(報告)p4

特に指導と評価の一体化を図るためには、児童生徒一人一人の学習の成立を促すための評価という視点を一層重視することによって、教師が自らの指導のねらいに応じて授業の中での児童生徒の学びを振り返り学習や指導の改善に生かしていくというサイクルが大切である。すなわち、**新学習指導要領で重視している「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を通して各教科等における資質・能力を確実に育成する上で、学習評価は重要な役割を担っている。**

アクティブラーニング

14

配布資料

児童生徒の学習評価の在り方について(報告) 概要

15

(3) 学習評価について指摘されている課題

【資料】児童生徒の学習評価の在り方について(報告)p4、概要p7

- 学期末や学年末などの事後での評価に終始してしまうことが多く、**評価の結果が児童生徒の具体的な学習改善につながっていない。**
- 現行の「関心・意欲・態度」の観点について、挙手の回数や毎時間ノートを取っているかなど、**性格や行動面の傾向が一時的に表出された場面を捉える評価であるような誤解が払拭し切れていない。**
- **教師によって評価の方針が異なり、学習改善につなげにくい。**
- 教師が評価のための「記録」に労力を割かれて、**指導に注力できない。**
- 相当な労力をかけて記述した**指導要録が、次学年や次学校段階において十分に活用されていない。**

恐縮な叫び...

(4) 学習評価の改善の基本的な方向性

【資料】児童生徒の学習評価の在り方について(報告)p5、概要p7

- ① 児童生徒の**学習改善につながるもの**にしていくこと。
- ② 教師の**指導改善につながるもの**にしていくこと。
- ③ これまで慣行として行われてきたことでも、**必要性・妥当性が認められないものは見直して**いくこと。

更なる高みを目指して、この後の演習で発見しましょう

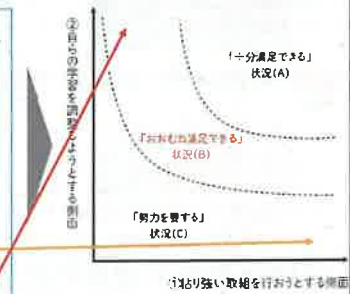
「主体的に学習に取り組む態度」の評価のイメージ

【配布資料】「学習評価の在り方ハンドブック」(p9)

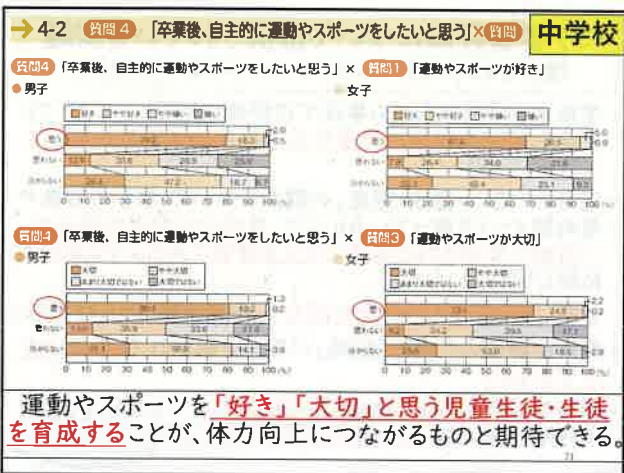
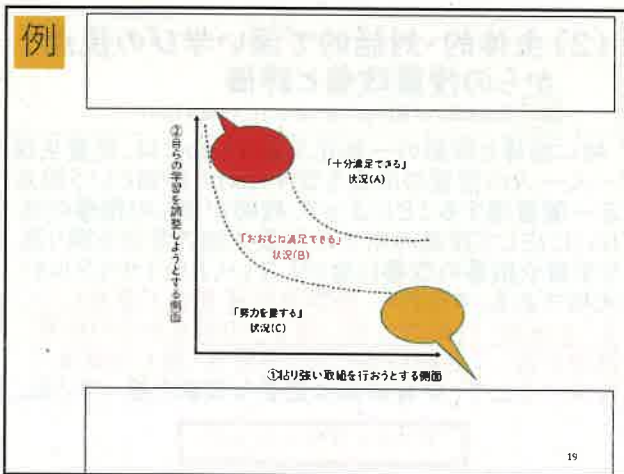
【資料】児童生徒の学習評価の在り方について(報告)p12、概要p11

○「主体的に学習に取り組む態度」の評価については、①知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行う中での、自らの学習を調整しようとする側面、という二つの側面から評価することが求められる。

○これら①②の姿は実際の教科等の学びの中では別々ではなく相互に関わり合いながら立ち現れるものと考えられる。例えば「自らの学習を調整しようとする粘り強い取組」は「粘り強さが全くない中で自らの学習を調整する姿」は一般的ではない。



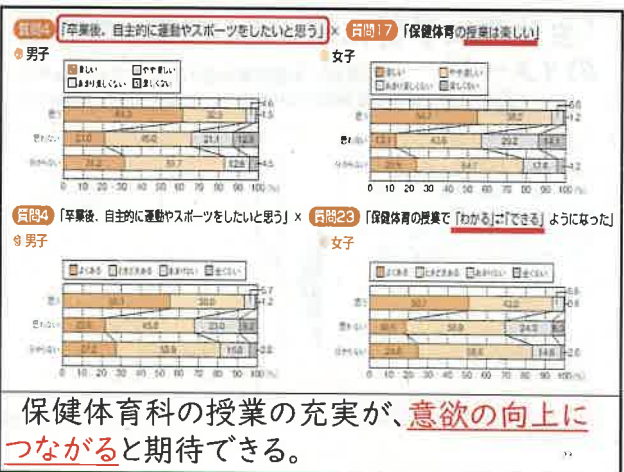
16



本研修の目的

本研修では、体力や技能の程度、年齢や性別及び障害の有無等にかかわらず、スポーツの多様な楽しみ方を社会で実践できるよう、**体育が苦手な児童生徒のための授業づくりを通して、運動やスポーツに親しむ資質・能力及び運動が健康に果たす役割、健康な生活を実践するための資質・能力を図るなど、調和のとれた子供の体力向上を図るための指導法を習得し、教師の資質向上及び指導力の向上を図る。**

22



授業で生徒同士の話し合いや助け合いを取り入れている学校は、「わかる」「できる」を実感している生徒が多い。

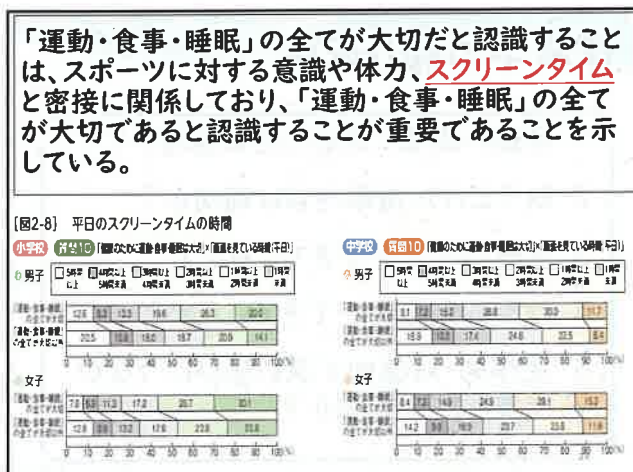
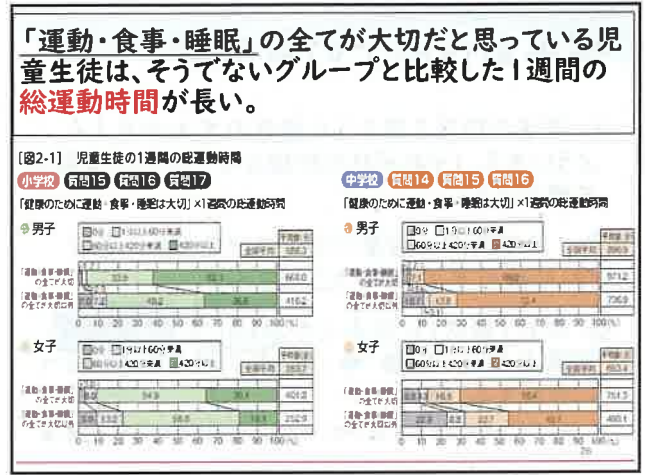
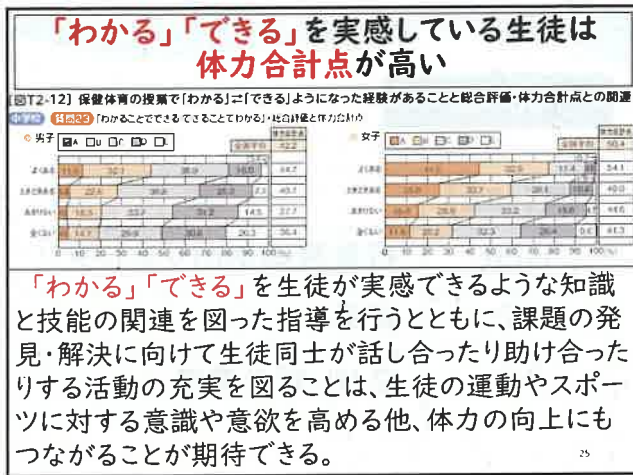
【図T2-8】保健体育の授業で「わかる」「できる」ようになった経験があることと、授業において友達やチームで話し合う活動との関連

【図T2-9】保健体育の授業で「わかる」「できる」ようになった経験があることと、授業における友達との助け合いや役割を果たすような活動との関連

「わかることとできることとわかる」「得意で助け合い、役割を果たす者」

体の動かし方のポイントとなる用語の揭示、ICT 機器の活用で、視覚的な知識の指導を工夫することにより、主体的な話し合い活動を促し、体の動きに対する理解を深めている。

24



【講義2】
新学習指導要領を踏まえた
体育・保健体育授業の考え方

配布資料

2019年度体育・保健体育授業力向上研修 西新ブロック連携員
新しい学習指導要領
生きる力
学び力、やる気力
講義2
Gコース(小中高 保健)
会場 かごしま県民交流センター(小研修室第1)
日時 2019年5月15日～17日
スポーツ庁
スポーツ庁政策課
教科調査官 横嶋 剛

演習の目的

班別演習により
新学習指導要領の
趣旨に沿った
より良い授業の在り方を
「主体的」「対話的」「深く」
考察する。

演習内容

1単位時間に焦点をあて、**思考・判断・表現**に
重点化した保健の授業展開例を作成する。
(A4縦で両面程度。ワークシートは別。パワー
ポイント等の使用も可能。)

- ① 単元を選ぶ。
- ② 決定したら前のWBに記入。同校種でかぶったら
じゃんけんで決める。
- ③ 特に重要である部分を10分程度で説明できる
ように準備する。

指導案作成上の留意点

- ① 発達の段階を踏まえた指導の工夫が見えるようにする。(それぞれの校種ならではの授業展開を模索する)
- ② 1単位時間の授業でテーマが見えない場合は、前後が見えるプレゼンをする。
- ③ 形式(様式)は自由だが、**ねらい**・**学習内容**・留意点「○」・評価「◆」等、ポイントがわかるように作成する。※
※【「生きる力」を育む高(中)等学校保健教育の手引き】参照

発表

時間(15分)	内容
10分	授業展開例のプレゼン
3分	質疑
2分	交代・発表準備

作業時間について

資料作成・発表準備(～14:20)

- ・授業展開例は、A4縦・両面程度で20部印刷(ワークシート・パワーポイント等があれば同数印刷)
- ・昼食(12:00～13:00)作業は可能
- ・作業時間にデータの配布作業を行います。ご希望の方は、記録媒体を垣田まで提出してください。

発表・まとめ(14:30～16:00)※

※完成時間によっては発表の形式を変更します。

作業中の振り返り

- 1 発達の段階に応じた授業展開か?
- 2 取り上げた指導内容は適切か?
- 3 教材の工夫ができていますか?
- 4 効果的な発問ができていたか?
- 5 主体的・対話的で深い学びにつながる授業となっているか?

作業のための参考資料等

「思考・判断・表現」について

- ・中学校学習指導要領解説(p206～228)
- ・高等学校学習指導要領解説(p215～233)

内容の取り扱い

- ・中学校学習指導要領解説(p227～228)
- ・高等学校学習指導要領解説(p234～235)

指導力向上研修(保健追加資料) 配布資料

「生きる力」を育む高等学校保健教育の手引き

今回の研修テーマを具現化した授業づくりに向けて、頑張ってください。

